



こども感染症情報

14.7.24
週報第498号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第29週(7/14~7/20)※	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	10	↓
溶連菌咽頭炎	8	↑
水痘	2	↑
インフルエンザ	0	→
RSウイルス	0	↓
流行性耳下腺炎	0	→
突発性発疹	3	↑
伝染性紅斑	1	↓
手足口病	2	↑

(参考) 秋田県の状況 ※ 第28週(7/7~7/13)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より微減)
2位: ヘルパンギーナ (全県で前週より5倍増加)
3位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より26%減少)
4位: 水痘
5位: 咽頭結膜熱
県内 警報・注意報ありません
横手地域 警報・注意報 ありません

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による
※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(7/22)

施設(数)	感染性胃腸炎	インフルエンザ	水痘	マイコプラズマ	おたふくかぜ	溶連菌咽頭炎	手足口病	伝染性紅斑
保育所・園(33)						1		
小学校(22)								
中学校(8)								
高校、他(7)								

感染症情報収集システムより(人)

夏に流行! ヘルパンギーナが秋田県で増加しています

今月に入ってから、県全体でのヘルパンギーナ患者の報告が急増しています。由利本荘・大仙保健所管内での報告が増えているので要注意です。

- 症状**
- ・突然の発熱(38℃以上) とのどに水疱(水ぶくれ)
 - ・のどの痛みで、不機嫌、拒食、哺乳障害などによる脱水症状をきたすことも
 - ・主に発症する年齢は4歳以下がほとんどです。

*感染経路は 飛沫感染・糞口感染(接触感染)です。

回復後にも数週間にわたり便からウイルスが検出されます。

トイレの後、おむつ交換後、食事の際は必ず手洗い・うがを行い、二次感染を予防しましょう。

